

## 目 次

はしがき  
凡 例

序 日本国憲法の成立……………〔林田 幸広〕… 1

Ⅰ 明治憲法の制定とその特色………… 1  
    明治憲法の制定    明治憲法の特色

Ⅱ 日本国憲法の制定とその基本原理………… 6  
    日本国憲法の制定    日本国憲法の基本原理

## 第Ⅰ部 基本的人権

第1章 人権の保障をめぐる基本問題……………〔木村 貴〕…15

Ⅰ 人権思想の発展と人権の種類…………15  
    人権思想の発展    人権の種類

Ⅱ 人権の享有主体…………19  
    国 民    天皇・皇族    外国人    法人(団体)

Ⅲ 人権規定の私人間効力(第三者効力)…………25  
    問題の意味    学説の考え方    判例の立場

Ⅳ 人権の制約——特別な法律関係と公共の福祉…………28  
    公務員    在監者    公共の福祉

第2章 幸福追求権と平等権……………〔中村 英樹〕…31

Ⅰ 幸福追求権…………31  
    幸福追求権の意義    幸福追求権の性格と他の人権との関係    幸福  
    追求権の具体的内容

## II 平等権……40

平等権の意義 日本国憲法と平等権 平等権の制限とその合憲性  
審査基準 平等権をめぐる判例

## 第3章 精神的自由権……………51

### I 思想・良心の自由……〔栗田 佳泰〕…51

思想・良心の自由の保障の意義と効果 思想・良心の自由をめぐる  
判例

### II 信教の自由……〔栗田 佳泰〕…56

明治憲法における信教の自由 日本国憲法における信教の自由の保  
障 信教の自由をめぐる判例

### III 学問の自由……〔栗田 佳泰〕…70

学問の自由の意義とその保障の効果 大学の自治の意義と内容  
学問の自由をめぐる判例

### IV 表現の自由……〔相澤 直子〕…75

表現の自由の保障の意義 日本国憲法における表現の自由の保障  
表現の自由に対する規制の合憲性審査 表現の自由をめぐる具体的  
問題と判例

## 第4章 経済的自由権……………〔安藤 高行〕…97

### I 居住・移転の自由と外国移住・国籍離脱の自由……97

居住・移転の自由 外国移住・国籍離脱の自由

### II 職業選択の自由……100

職業選択の自由の意義と内容 職業選択の自由の規制とその合憲性  
審査基準 職業選択の自由をめぐる判例

### III 財産権……107

財産権の保障とその制限 財産権の制限をめぐる判例 公共のた  
めの財産権侵害行為と補償

## 第5章 人身の自由……………〔河北 洋介〕…112

### I 人身の自由の一般的保障……112

人身の自由の意義 奴隷的拘束・意に反する苦役の禁止 適正手

続の保障

II 被疑者の権利……117

令状主義 逮捕 抑留・拘禁の要件 住居等の侵入・捜索・押収の要件

III 被告人の権利……121

公平な裁判所の迅速な公開裁判を受ける権利 証人審問権と証人喚問権 弁護人依頼権 不利益供述の強要禁止 自白の証拠能力の制限 遡及処罰の禁止 拷問・残虐な刑罰の禁止

第6章 受益権と社会権……………〔大西 斎〕…127

I 受益権……127

請願権 裁判を受ける権利 国家賠償請求権 刑事補償請求権

II 社会権……131

生存権 教育を受ける権利 勤労の権利 労働基本権

第7章 参政権……………〔牧本 公明〕…143

I 選挙権と被選挙権……143

選挙権 被選挙権 選挙の原則

II その他の参政権……151

国政におけるその他の参政権 地方政治におけるその他の参政権

第8章 国民の義務……………〔牧本 公明〕…155

国民の義務の意義 教育の義務 勤労の義務 納税の義務

第II部 統治機構

第1章 天皇……………〔徳永 達哉〕…161

I 天皇の地位……161

象 徴 君主・元首 皇位の継承 摂政と臨時代行

II 天皇の権能……167

国事行為 内閣の助言と承認 公的行為

III 皇室の経済……172

明治憲法下の皇室経済 日本国憲法下の皇室経済

第2章 平和主義——憲法9条……〔浮田 徹〕……174

序 日本国憲法の平和主義

I 9条の解釈……175

学説の9条解釈 政府の9条解釈

II 我が国の安全保障と自衛隊の海外活動……180

日本国憲法と国際連合による安全保障 日米安全保障条約と自衛隊の活動領域の拡大

III 9条をめぐる裁判……185

自衛隊の合憲性に関する裁判と憲法9条, 平和的生存権 日米安全保障条約の合憲性が争われた事例

第3章 国 会……〔田中 祥貴〕……190

I 国会の性格と地位……190

国民の代表機関 国権の最高機関 唯一の立法機関

II 国会の構成——二院制……193

二院制の意義と類型 衆議院と参議院の関係 衆議院議員と参議院議員の選挙制度

III 国会の権能……197

立法 予算の審議・議決 条約締結の承認 内閣総理大臣の指名 憲法改正の発議 弾劾裁判所の設置 その他の憲法上の権能 法律に基づく権能

IV 議院の権能……200

内部組織に関する自律権 議院運営に関する自律権 国政調査権

V 国会の活動……204

会 期 会議の原則 衆議院の解散 参議院の緊急集会

VI	国会議員	208
	国会議員の地位と権能	国会議員の特権
VII	政党	210
	政党と憲法	政党の法的規制
<b>第4章</b>	<b>内閣</b>	[木村 俊夫] 213
I	内閣の地位と組織	213
	内閣の地位	内閣総理大臣の指名と任命
	閣議	総辞職
II	内閣総理大臣と国務大臣の権能	219
	内閣総理大臣の権能	国務大臣の権能
III	内閣の権能と責任	221
	憲法73条が定める権能とその他の権能	責任
IV	内閣と国会の関係——議院内閣制	226
	議院内閣制の意義	日本国憲法と議院内閣制
<b>第5章</b>	<b>裁判所</b>	[井上 亜紀] 228
I	司法権の意義と範囲	228
	司法権の意義	司法権の範囲
		「法律上の争訟」
		司法権の限界
II	裁判所の組織と権能	232
	最高裁判所	下級裁判所
		特別裁判所の禁止
III	違憲審査制	237
	違憲審査の意義と類型	我が国の違憲審査制の性格
	主体	違憲審査の対象
		違憲判断の方法と効力
		我が国の違憲審査の現状
IV	裁判所の活動に関する原則	244
	司法権の独立	裁判の公開
<b>第6章</b>	<b>財政</b>	[妹尾 克敏] 248
I	財政に関する原則	248

財政民主主義 租税法律主義 国費の支出及び国の債務負担行為  
公の財産の支出又は利用の制限

II 予算・決算……251

予算の意義と法的性格 予算の種類 予算の作成と審議・議決  
決算及び財政状況の報告

第7章 地方自治……………[妹尾 克敏]…256

I 地方自治の本旨……256

住民自治 団体自治 地方自治権の根拠

II 地方公共団体……258

地方公共団体の種類 地方公共団体の機関と権能

III 条 例……259

条例による財産権の規制 条例による課税 条例制定権の限界

第8章 憲法の改正……………[林田 幸広]…262

I 憲法改正の手続……262

国会による発議 国民投票による承認 公 布

II 憲法改正の限界……264

限界説と無限界説 日本国憲法改正の限界 憲法改正をめぐる動  
き

事項索引